

【羊ヶ丘病院の“今”をお知らせ】



脊椎 中山医長による「腰椎分離症」の勉強会が開催されました

NEWS

整骨院・治療院の先生を対象に、当院で開催している「整形外科疾患勉強会」。

2014年9月18日（木）20時より開催された第23回目は、脊椎 中山 央医長が「腰椎分離症」をテーマにお話し致しました。

「腰椎分離症」は、腰椎の後方部分に亀裂が入る疾患で、ケガのように1回で起こるわけではなく、スポーツの練習などで繰り返し腰椎を反らしたりねじったりすることで起こります。日本人の全人口の約6%の方に分離症の方がおり、スポーツ選手では30～40%程度の方に発症すると言われています。

勉強会では、「腰椎分離症」の分離する部位を画像を見ながら説明するとともに、人種差・男女差・プロスポーツ選手の発生頻度、発生原因や症状、診断方法、治療方法、当院での治療成績等を含め、多岐にわたりご説明しました。

早期に見つかれば、骨癒合する確率が高く治療期間も短いこと、そのためには早期診断が重要であることを最後にお話しして勉強会は終了しました。

ご出席者の皆さんは真剣に中山医師の話に耳を傾け、質疑応答も活発になされ、実りある勉強会になりました。



沢山の方にご出席頂きました



講師 脊椎 中山央医長